



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年11月5日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6894 URL <http://www.pulstec.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)熊谷 正史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理部長 (氏名)杉本 英 TEL (053) 522 - 5176
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,180	44.8	△46	—	△41	—	△60	—
22年3月期第2四半期	814	—	△148	—	△137	—	△123	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△4.42	—
22年3月期第2四半期	△8.98	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	3,769	2,367	62.8	172.73
22年3月期	3,976	2,428	61.1	177.14

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,367百万円 22年3月期 2,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	18.7	25	—	36	—	13	—	0.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、[添付資料] 3 ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期2Q	13,934,592株	22年3月期	13,934,592株
23年3月期2Q	229,108株	22年3月期	227,828株
23年3月期2Q	13,706,011株	22年3月期2Q	13,709,703株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料] 3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復や企業収益の改善、経済対策効果による個人消費の持ち直しなど景気は緩やかに回復しつつあるものの、厳しい雇用情勢に加え急激な円高進行の影響が懸念されるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましては、地上波デジタル放送への対応やエコポイント効果により、関連製品の需要は堅調に推移し、緩やかではありますが設備投資への積極姿勢が見えるようになりました。

このような状況のなかで当社は、研究開発を推進するとともに、既存製品の拡販に加え新規受注の獲得に向けて積極的な受注活動を展開する一方、原価低減や諸経費のさらなる削減に取り組んでまいりました。

受注高につきましては、光ディスク関連機器・装置では、生産用設備及び研究開発用設備などの受注が堅調に推移するほか、その他特殊機器・装置では、特注製品の受注は低調なものの、3Dスキャナの受注が回復したことなどにより、11億89百万円（前年同期比7.6%増）となりました。

(注) 前年同期比の算出に使用した前第2四半期累計期間の受注高は、「平成22年3月期第2四半期決算短信」で公表した受注高（21億5百万円）から、受注先の都合により受注取消しとした「特殊記録用ドライブ」の受注高（10億円）を控除した受注高（11億5百万円）を使用しております。

売上高につきましては、光ディスク関連機器・装置では、増産に対応するための生産用設備、多層化に向けた研究開発用設備などに加え、その他の特殊機器・装置等では、3Dスキャナ及び特注の専用検査装置が売上に寄与したことから、11億80百万円（前年同期比44.8%増）となりました。

損益面につきましては、諸経費削減等の成果が現れているものの、原材料費のコストダウンについては想定した成果が得られなかったこと、既存製品の改良や研究開発活動を前倒しで進めたことなどから、46百万円の営業損失（前年同期は1億48百万円の営業損失）、41百万円の経常損失（前年同期は1億37百万円の経常損失）となり、旧本社工場の売却に伴う特別損失の計上等により、60百万円の当期純損失（前年同期は1億23百万円の当期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期累計期間末における総資産は37億69百万円となり、前事業年度末と比べて2億6百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が74百万円、仕掛品が58百万円それぞれ増加し、有価証券が1億50百万円、受取手形及び売掛金が1億42百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は14億2百万円となり、前事業年度末と比べて1億46百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が93百万円、支払手形及び買掛金が30百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は23億67百万円となり、前事業年度末と比べて60百万円減少いたしました。これは主に、利益剰余金が1億82百万円増加し、資本剰余金が2億42百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、12億7百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、48百万円となりました。

主な増加要因は、売上債権の減少1億42百万円、ファクタリング債務の増加44百万円であり、主な減少要因は、たな卸資産の増加70百万円、税引前四半期純損失の計上58百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、4百万円となりました。

主な増加要因は、有形固定資産の売却による収入96百万円であり、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出52百万円、その他の投資等への支出50百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億10百万円となりました。

主な減少要因は、長期借入金の返済による支出1億9百万円であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間の実績を踏まえ、通期の業績予想につきましては、平成22年10月19日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました内容のとおりであり、現時点において変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変動がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、5期連続して当期純損失を計上しております。このような状況を解消するため、営業力の強化に努め、既存製品の拡販や受注の確保に注力するとともに、原価率の改善、人件費を含めたさらなる諸経費の削減などの諸施策を実施しております。引き続き、早期の業績回復と経営体質の改善に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	507,063	432,387
受取手形及び売掛金	941,493	1,084,260
有価証券	700,000	850,000
仕掛品	509,844	451,426
原材料及び貯蔵品	85,664	73,842
その他	43,453	71,382
貸倒引当金	△12,399	△9,855
流動資産合計	2,775,120	2,953,444
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	345,929	361,197
その他(純額)	267,648	355,445
有形固定資産合計	613,577	716,642
無形固定資産	27,255	207
投資その他の資産		
投資有価証券	85,017	88,626
その他	269,525	218,412
貸倒引当金	△521	△525
投資その他の資産合計	354,021	306,513
固定資産合計	994,854	1,023,363
資産合計	3,769,975	3,976,808
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,723	131,708
1年内返済予定の長期借入金	203,350	219,996
未払法人税等	5,044	8,052
その他	413,695	396,723
流動負債合計	722,814	756,480
固定負債		
長期借入金	70,000	163,352
退職給付引当金	578,595	597,702
役員退職慰労引当金	13,942	13,942
その他	17,286	17,286
固定負債合計	679,824	792,283
負債合計	1,402,638	1,548,764

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	1,099,653	1,342,533
利益剰余金	△60,583	△242,880
自己株式	△162,684	△162,463
株主資本合計	2,367,760	2,428,564
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△424	△520
評価・換算差額等合計	△424	△520
純資産合計	2,367,336	2,428,043
負債純資産合計	3,769,975	3,976,808

(2) 四半期損益計算書

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	814,945	1,180,388
売上原価	614,624	845,727
売上総利益	200,320	334,661
販売費及び一般管理費	348,415	381,009
営業損失(△)	△148,094	△46,348
営業外収益		
受取利息	973	355
受取配当金	202	255
助成金収入	35,792	24,548
その他	1,545	2,925
営業外収益合計	38,514	28,085
営業外費用		
支払利息	4,716	2,880
減価償却費	1,465	540
遊休資産管理費用	—	4,372
為替差損	16,582	11,432
投資事業組合運用損	5,542	3,704
営業外費用合計	28,306	22,931
経常損失(△)	△137,886	△41,194
特別利益		
投資有価証券売却益	12,654	—
貸倒引当金戻入額	5,440	—
償却債権取立益	—	1,744
特別利益合計	18,095	1,744
特別損失		
固定資産除却損	133	460
減損損失	—	16,542
保険解約損	149	—
その他	—	1,968
特別損失合計	283	18,972
税引前四半期純損失(△)	△120,074	△58,422
法人税、住民税及び事業税	2,982	2,160
法人税等合計	2,982	2,160
四半期純損失(△)	△123,057	△60,583

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△120,074	△58,422
減価償却費	31,422	27,456
減損損失	—	16,542
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26,605	2,540
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△51,291	△19,107
受取利息及び受取配当金	△1,175	△610
支払利息	4,716	2,880
為替差損益(△は益)	8,621	9,234
投資事業組合運用損益(△は益)	5,542	3,704
投資有価証券売却損益(△は益)	△12,654	—
有形固定資産除却損	133	460
保険解約損益(△は益)	149	—
売上債権の増減額(△は増加)	433,987	142,766
たな卸資産の増減額(△は増加)	△80,336	△70,238
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,033	△38,492
ファクタリング債務の増減額(△は減少)	△26,878	44,788
未払又は未収消費税等の増減額	22,962	8,301
その他	△26,763	△17,143
小計	121,722	54,661
利息及び配当金の受取額	1,185	641
利息の支払額	△4,873	△2,882
法人税等の支払額	△4,616	△3,794
法人税等の還付額	815	302
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,233	48,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,169	△52,057
有形固定資産の売却による収入	—	96,996
投資有価証券の売却による収入	24,900	—
貸付けによる支出	—	△1,000
貸付金の回収による収入	2,410	1,252
差入保証金の回収による収入	30,000	—
保険積立金の解約による収入	52,542	—
その他	—	△50,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	102,683	△4,808
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△109,998	△109,998
自己株式の取得による支出	△126	△220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,124	△110,218
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,625	△9,226
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	98,167	△75,324
現金及び現金同等物の期首残高	1,793,983	1,282,387
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,892,150	1,207,063

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、単一セグメントを採用しており重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第2四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,186,876	121.9

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,189,383	107.6	725,989	131.9

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 前年同四半期比の算出に使用した前第2四半期累計期間の受注高及び受注残高は、「平成22年3月期第2四半期決算短信」で公表した受注高(21億5百万円)及び受注残高(15億50百万円)から、受注先の都合により受注取消しとした「特殊記録用ドライブ」の受注高(10億円)を控除した受注高(11億5百万円)及び受注残高(5億50百万円)を使用しております。

③ 販売実績

当第2四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
1,180,388	144.8

(注) 1 主な輸出先、輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。

なお、()内は総販売実績に対する輸出販売高の割合であります。

輸出先	前第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
	販売高 (千円)	割合 (%)	販売高 (千円)	割合 (%)
アジア	169,836	54.6	598,603	92.2
北米	117,243	37.7	31,415	4.8
ヨーロッパ	23,770	7.7	19,190	3.0
計	310,850 (38.1%)	100.0	649,209 (55.0%)	100.0

2 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	当第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	
	販売高 (千円)	割合 (%)
World Vantage Co., Ltd.	418,110	35.4

3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。